

# 夏目漱石山房記念館

## 夏目漱石記念館 施設整備便り

ともに創ろう、(仮称)「漱石山房」記念館

## 創刊号

平成26年7月発行

発行元

新宿区地域文化部  
文化観光課文化資源係

〒160-8484 東京都新宿区  
歌舞伎町一丁目4番1号

電話：(03)5273-4126

FAX：(03)3209-1500

### 記念館のめざす姿

- 1、記念館内に書斎・客間・ランダ式回廊など「漱石山房」の一部を復元
- 2、常設展のほか、企画展や講座・イベントを開催し、漱石とその文学の世界を紹介
- 3、漱石に関する本を読みながらゆったりと過ごせる図書館やカフェを設置
- 4、地域の方々や大学・企業との連携を大切にし、地域の博物館として活動

新宿区は、夏目漱石が生まれ育ち、その生涯を閉じたまちです。漱石ゆかりの地である新宿区で、漱石にとって初の本格的記念館である(仮称)「漱石山房」記念館を整備します。区は、(仮称)「漱石山房」記念館が、漱石を発信する活気と賑わいのある記念館となることをめざしています。

この記念館建設に適した設計委託事業者を選定するため公募型プロポーザルを実施し、平成26年5月にフォルムデザイン一央(いちおう)株式会社に決定しました。

建築設計事業者に

## フォルムデザイン一央株式会社が選ばれました



記念館イメージ図

### 中島国彦委員長講評

(仮称)「漱石山房」記念館

設計事業者選定委員会

各社それぞれに魅力ある提案のなか、特にフォルムデザイン一央株式会社の、建設予定地の早稲田南町界隈の街並みを深く観察し、漱石の日常の感覚にまで配慮した、きめ細やかな設計提案を高く評価しました。また、緑の空間の中で人々が集い憩えるための工夫・手法を凝らしている点は、工事費の節約、開館後の運営も視野に入れた提案として優れています。限られた建築面積の中で諸室を効果的に配置するなど、多様な企画・展示に柔軟に適応した提案ともなっています。今後、更に細部の検討がなされ、多くの人々に愛され、出会いに満ちた活気ある記念館になることを期待しています。

「コラム」ちよつと道草

漱石山房の金曜日

漱石の家では毎週木曜日にいわゆる木曜会という漱石と弟子たちの交流の会があったことはよく知られているが、一時期毎週金曜日に漱石が謡の稽古をつけてもらっていたことを知る人は意外に少ないのではないか。漱石は宝生新(1)から手ほどきを受けた謡を、木曜会に参加していた面々の前でも披露していたようだ。今となってはその腕前を確かめる術もないが、野上弥生子(2)は山羊のようだと言っており、なかなか手厳しい評価を下している。

(1) 宝生新(ほうしょうしん)：能楽師。ワキ方。一九〇五年に宝生流十代目宗家を継ぐ。

(2) 野上弥生子(のがみよえこ) (のがみえこ)

…小説家。

夫は木曜会の常連でもあった野上豊一郎。



〈開館までの整備スケジュール〉

- 平成26年(2014年)5月 記念館設計事業者決定
- 平成26年(2014年)6月 記念館設計開始
- 平成27年度(2015年度) 建築工事中
- ★平成29年(2017年)2月 記念館開館予定

■新宿区夏目漱石コンクールの開催

◆読書感想文コンクール(中学生・高校生)

「わたしの漱石、わたしの一行」

夏目漱石作品(作品の指定なし)を読み、心に深く残った「一行」を選び、なぜその一行を選んだのかを表現します。

◆絵画コンクール(小学生)

「猫になって描いてみよう」

「わがはいはネコである」

ネコになったつもりで、あるいはネコの気持ちになって、「猫の目から見た世界」を絵画として自由に描きます。

※応募方法等詳細については、応募チラシをご覧ください。

■夏目漱石記念施設整備基金への寄付状況

平成26年6月26日現在

795件 4,299万円			
都道府県別件数(単位:件)			
北海道	10	三重県	2
秋田県	3	滋賀県	1
福島県	1	京都府	6
茨城県	5	大阪府	9
栃木県	4	兵庫県	11
群馬県	3	和歌山県	1
埼玉県	38	島根県	5
千葉県	41	広島県	14
東京都	499	徳島県	1
神奈川県	74	愛媛県	4
新潟県	17	福岡県	9
石川県	1	長崎県	2
山梨県	3	熊本県	9
長野県	3	大分県	1
岐阜県	1	宮崎県	1
静岡県	9	その他	1
愛知県	6		



区長挨拶

夏目漱石が、日本の近代作家の中でひととき大きな存在であることは、誰もが認めるところです。多くの作品が、時代を超えて読者の心を捉え、生きる道標になるとともに、幅広い世代に愛読されている国民的作家です。

新宿区では、かつて漱石山房のあったこの地に、漱石初の本格的記念館を整備することとしました。記念館では、土地の記憶に結びつく「漱石山房」を一部再現するとともに、常設展示や企画展示、講演会の開催、ブックカフェの運営など活気ある事業活動を行います。そして多くの人々に何度も訪れていただける記念館をめざし、全力で取り組んでまいります。



中山 弘子